

# 日常生活の指導学習指導案

情緒障害特殊学級（あすなる学級）4人（男子4）  
指導者 田平 奈保美

## 1 題材 一人でできるよ！朝の活動 2 子どもの実態

A 児 (1年男)	言葉や文字だけで活動の見通しをもつことは確実ではないが、カード(写真・絵)を使うなど本児にとって分かりやすい方法で伝えと見通しをもって活動できることが多い。係の仕事には関心があり、積極的に取り組もうとする態度が見られ、他の子どもの様子を見て、まねをしながら活動することができる。
B 児 (3年男)	言葉で伝えることで多くの活動に見通しをもつことができる。自分の係の活動等については、見通しがもてれば一人で活動できる。気分が乗らない場合には途中で大人に頼ろうとする面が見られるが、言葉かけや励ましの言葉で最後まで続けることができる。
C 児 (4年男)	言葉や文字だけで活動の見通しをもつことは確実ではないが、カード(写真・絵・マーク)を使うなど本児が分かりやすい方法で伝えと見通しをもって活動できることが多い。係活動については、カード等で活動の手順が分かると自分から取り組もうとする様子も見られつつある。
D 児 (6年男)	言葉で伝えると多くの活動に見通しをもつことができる。毎日行う自分の係活動や掃除等については、言葉かけや励ましの言葉がなくても、ほぼ一人で活動することができる。初めて行う活動については、自分から手順を何度も確認し、本児なりの見通しをもってから活動しようとする。

## 3 題材のねらい

1校時に朝の会として「日常生活の指導」の時間を带状に設定し、一日の生活や係活動等に自分なりの見通しをもてるようにすることで、自分で考えて主体的に行動できるようにすることをねらいとしている。また、社会生活に必要と思われるあいさつの仕方や集団生活でのきまり、自分の役割を果たす大切さ等、望ましい生活習慣の形成を図ることもねらいとしている。

## 4 本 時

### (1) 目 標

個 人 目 標	A 児 (1年男)	○ 一日の活動の流れが書いてあるスケジュール表を見ながら、自分の時間割ボードにカード(文字及び絵)を貼っていくことができる。 ○ 手順カードを手がかりに、手順どおりに一人で係活動をすることができる。
	B 児 (3年男)	○ 一日の時間割(教科・領域)表を見ながら、自分の時間割ボードに写し、発表することができる。 ○ 曜日を見ることでその日の係活動の内容を確認し、一人で活動することができる。
	C 児 (4年男)	○ 一日の活動の流れが書いてあるスケジュール表を見ながら、自分の時間割ボードにカード(文字及び絵)を貼っていくことができる。 ○ 手順カードを手がかりに、手順どおりに一人で係活動をすることができる。
	D 児 (6年男)	○ 一日の時間割(教科・領域)表を見ながら、自分の時間割ボードに写し、発表することができる。 ○ その日の係活動の内容を自分で選択し、一人で活動することができる。

### (2) 展 開 (45分)

時間	主な学習活動	教師の支援
(分) (10)	1 始めのあいさつをする。 2 朝のあいさつをする。 3 今月の歌を歌う。 4 健康観察をする。 5 今日の時間割を作成し、発表する。	○ 返事の声小さかったり、姿勢が悪かったりする子どもに対しては、絵カードを見せ、本人に気付かせるようにすることで、自分でそれを直すことができるようにする。 ○ それぞれの子どもの実態に合った時間割やスケジュール表を準備することで、自分で一日の流れの見通しをもつことができるようにする。
(15)	6 係の仕事をする。 ・ A児<黒板係>…毎日同じ活動 ・ C児<机ふき係>…毎日同じ活動 ・ B児<マット係>…曜日ごとの活動 ・ D児<水飲み場係>…いくつかの活動の中からD児自身が選択した活動	☆ A児とC児に対しては、時間割(教科・領域)だけではなく、登校から下校までの流れのカード(文字及び絵)を時間割ボードに貼ることで、一日の流れ全体に見通しをもつことができるようにする。 また、終わった活動については、カードを取り外すことで次の活動が何かという見通しをもつことができるようにする。 ☆ B児D児は、毎日行う活動の流れについては分かっているので、自分の時間割(教科・領域)のみを板書し発表することで、一日の学習活動に見通しをもつことができるようにする。 ○ それぞれの子どもの実態に応じた手順カードを確認することで、一人で活動できるようにする。 ☆ A児C児に対しては、それぞれの活動場所に手順カードを提示するとともに、終わった活動についてはカードを外させることで、最後まで一人で活動することができるようにする。 ☆ B児に対しては、曜日を確認し事前に活動内容に見通しをもたせることで、一人で活動することができるようにする。 ☆ D児に対しては、用意された活動内容の中から、自分でやりたい活動を選択するとともに選択した活動を順番に貼ることで、次の活動の見通しをもち、最後まで一人で活動できるようにする。
(5)	7 今日のめあてをきめる。 8 終わりのあいさつをする。	○ 活動後に「できたよシール」をカードに貼り、称賛することで、達成感を味わうことができるようにするとともに、毎日の係活動に意欲をもって取り組むことができるようにする。 ○ いくつかの「がんばりカード」の中から、頑張ることを選択するようにし、具体的に何をすればよいか確認することで、見通しをもつことができるようにする。